

【革命は二度も必要か？】

昨年日本では5月末に爆発的な人気で販売された iPad については私でさえ下のような電子図書風のメモをWebに公開した。それはたった1頁のものだった。

iPad に関して最近は特に自家製電子書籍として表紙まである数頁の文章が読めるようになり、喜んでいた。

それなのに、iPad 2 が出現したではないか。

Mac Fan 5月号の別冊付録に iPad 2 START GUID (次ページにその表紙を示す)を読んでみると、筐体の厚みが薄くなって軽量になった点やらデュアルコアで処理速度を早めたことやカメラが付いたことなどが紹介されていた。

しかし、今年のフィーバー時に私でさえ「iPad 革命」と呼んだ革命が果たして今回も「iPad 2 革命」と呼ぶ必要はないと思っている。

iPad 革命記念日

明日は私にとってもコンピュータ生活における革命記念日だ。
すなわち iPad が手に入る日なのだ。

若いころはオフコン (オフイスコンピュータ) のプログラマとして飯を食わせてもらっていたが、パソコンの時代になってからはほんの少しだけの稼ぎしか無いのに、飽きずに使ってきた。

インターネットの時代に入ると色々なコンテンツを作ってはサーバーにアップロードしてそれらを公開して得意がるのが趣味になって来た。その前に、知らないプログラム言語などは他の奇特な方々の入門・解説サイトで学ばせてもらったことへのお礼の気持ちもあって、どこまでそれをマスターしたかを報告したかったからである。

毎日、パソコンを触らない日は無く、自分の部屋に電ると時間の経つのも忘れるほどの生活を送っている。

しかし、部屋に電るパソコン生活にも不満はあった。
どこに行ってもパソコンが使いたい。そんな欲求から携帯や携帯 PDA 機でもパソコンと同等の J O B をしたいと次第にモバイルへの関心が深まっていた。
E-MOBILE からポケット WiFi を入手したりして、現在のパソコンでも携帯 PDA 機でもモバイル化を実現することは出来るようになっていた。

iPad は全く新しい範疇の情報端末機であるのだが、ポケット WiFi と

組み合わせれば、鬼に金棒もう完璧なモバイル機でもある。
これまでのパソコンや携帯 PDA 機に対しての不満が一気に吹き飛ぶ素晴らしいものに違いない。Windows ともお別れだ (嘘?)。



だから iPad の引き取りに行くだけで女房をステイさせるほどの言い訳にとっても、明日は iPad による革命記念日となる理屈が正当化されねばならない。祭りだ祭りだ。

iPad 2 に関するいち早い情報はMac Fan 5月号の別冊付録に紹介されている。

